

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第60号 令和7年7月22日



この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。

会報電子版の記事は、都産振HPにも一部掲載されております。合わせてご覧いただければと思います。今後ともよろしく願いたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.tosanshin.org/>

☆今号のコンテンツ

- 【1】 東日本高等学校土木教育研究会関東地区総会並びに研究協議会報告（6月）
- 【2】 令和7年度都立六郷工科高等学校マッチングセッション報告（6月）
- 【3】 令和7年度東京都産業教育振興会創立70周年記念総会及び講演会報告（6月）
- 【4】 企画推進委員会（第1回）報告（7月）
- 【5】 産学懇談会（第1回）報告（7月）
- 【6】 令和7年度「作文コンクール」募集のお知らせ
- 【7】 情報提供のお願い

☆

- 【1】 東日本高等学校土木教育研究会関東地区総会並びに研究協議会報告（6月）

令和7年6月6日（金）午後0時30分から午後4時35分まで公益社団法人全国工業高等学校長協会「工業教育会館」にて、東日本高等学校土木教育研究会関東地区総会並びに研究協議会が開催されました。

開会のことばを檜山清幸副実行委員長（都立総合工科高等学校長）、地区長挨拶を大熊敬一関東地区長（神奈



川県立向の岡工業高等学校長)、大会実行委員長挨拶を町田康広実行委員長(都立田無工科高等学校長)にいただき、来賓を代表して渡邊隆公益社団法人全国工業高等学校長協会事務局よりご挨拶をいただきました。

その後、議事に移り、6件の議案を提案し審議の結果、全議案とも原案どおり承認されました。また、議事終了後に、2名の方々に感謝状の贈呈があり、閉会の言葉をもって総会は閉会となりました。

次に研究発表・研究協議が行われ、2つの研究発表と研究協議が行われました。研究協議では、「公立の工業高校における高校入試の倍率低下と今後の課題について」の協議がなされました。その際、基調発表として「東京都立総合工科高等学校の広報・募集活動事例と今後の課題について」を都立総合工科高等学校建築・都市工学科系永洋次郎教諭より発表がありました。その発表を受け、グループ協議となり、グループごとに全体発表を行いました。全体的に建設的な意見が多く聞かれ、熱気の満ちた協議となりました。協議後、指導講評を渡邊隆公益社団法人全国工業高等学校長協会事務局よりいただき、閉会となりました。



【2】令和7年度都立六郷工科高等学校マッチングセッション報告(6月)

令和7年6月17日(火)「大田区産業プラザPiO4 階コンベンションホール」を会場として、大田工業連合会青年部連絡協議会主催の「マッチングセッションOTA2025」が開催されました。

本イベントは、都立六郷工科高等学校の1年生～3年生、PTAを招待し、大田工業連合会会員企業26社が企業紹介・製品展示を行います。

生徒は各企業のブースを回り、大企業とは違った地元大田区の中小業の良さや経営者の生の声をより近くで聞くことができ、貴重な経験を得ることができます。生徒は、説明を聞くだけでなく、積極的に質問するなど意欲的に取り組んでいました。この経験を今後の進路選択に生かしてもらいたいと思います。



【3】令和7年度東京都産業教育振興会創立70周年記念総会及び講演会報告

令和7年度東京都産業教育振興会創立70周年記念総会及び講演会を6月19日(木)全商会館において、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催しました。

創立70周年記念総会の開会にあたり、西澤宏繁会長、坂本雅彦理事長（東京都教育委員会教育長）から挨拶がありました。

続いて、来賓の公益財団法人産業教育振興中央会専務理事岩井宏様、東京都公立高等学校長協会会長の加藤瑞樹様（東京都立稔ヶ丘高等学校長）、東京都中学校長会会長の佐藤敏数様（武蔵野市立第二中学校長）からご挨拶を頂きました。次に、事務局から3件の報告、6件の議案を提案し、審議の結果、全議案とも原案どおり承認されました。

続きまして、創立70周年を記念し、「産業教育の歩み」と題して、常任理事の長谷克己教育庁都立学校教育部ものづくり教育推進担当課長の講話がありました。さらに、創立70周年記念として本会に半世紀を超えて加入し産業教育の振興のために尽力されたことに対し、株式会社小葉印刷所、三和電気計器株式会社、実教出版株式会社、鉄道機器株式会社、東京ガス株式会社、東京書籍株式会社の6社に感謝状を贈呈いたしました。また、会員となって10年経過した企業会員に産業界会員功労者（永年会員）の表彰式を行い、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会、ベストワールド株式会社の2社を表彰しました。

総会後の講演会は京都橘大学教授松原仁氏に「AIによって産業はどう変わるか そのために教育はどう変わるべきか」のご講演をいただきました。



西澤宏繁会長



坂本雅彦理事長



公益財団法人産業教育振興中央会
岩井宏専務理事



東京都公立高等学校長協会
加藤瑞樹会長



東京都中学校長会
佐藤敏数会長



京都橘大学
松原仁教授

【4】令和7年度企画推進委員会（第1回）の報告（7月）

7月4日(金)、都庁第二本庁舎教育委員会室にて、本年度第1回の企画推進委員会を開催しました。開会にあたり出席者の自己紹介をしました。座長を都立南多摩中等教育学校の富川麗子統括校長にお願いし、本年度の事業予定及び事業活動経過等について、会報167号の発行についてなど7報告、会誌63号の編集について、「西多摩地域産学教育懇談会」についてなど、7議案の協議が行われました。委員の方々から活発なご意見を頂きましたので、今年度の活動に生かしてまいります。



【5】令和7年度産学懇談会（第1回）を都立工芸高等学校で開催（7月）

7月11日(金)、都立工芸高等学校を会場に、本年度第1回の産学懇談会を開催いたしました。都立工芸高校は、1907年に創立されました。その歩みは今年で118年を迎えます。2007年に発行された「都立工芸100年の歩み」では「工芸高校設立委員会の委員長は、実業家で工業教育奨励の旗を振っていた渋沢栄一であったと巻頭のページで紹介されています。

現在、工芸高校には、「アートクラフト科」、「マシクラフト科」、「インテリア科」、「グラフィックアート科」、「デザイン科」の5学科が設置され、夜間定時制は「デザイン科」を除く4学科が設置されています。2万人を超える卒業生は、工芸作家・デザイナー・アートディレクター・エンジニアをはじめとして、広く社会で活躍しています。

開会の挨拶を西澤宏繁会長、深澤栄次会場校校長、長谷克己都立学校教育課高等学校教育課ものづくり教育推進担当課長より頂きました。また、お忙しい中、指導部高等学校教育指導課田中智弘指導主事も駆けつけてくださいました。その後、工芸高校先生方の案内にて校内見学（施設・設備等）を行いました。

見学後、深澤栄次統括校長から学校概要や特色ある教育活動について詳しく説明を頂きました。その後、懇談会に移り、参加者から施設見学・学校説明に対する質問・感想が述べられました。また、工芸学科の現状と課題、教育活動への期待について意見交換を行い、有意義な機会となりました。

都立工芸高等学校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。





【6】令和7年度「作文コンクール」募集のお知らせ

1 趣 旨

東京都産業教育振興会の会員校である東京都内の中学校、中等教育学校、義務教育学校、高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等に在籍する生徒・学生を対象に、産業教育に関する作文の募集を通して、専門教科の学習や勤労への興味・関心や意欲を喚起し、将来の職業人の育成を図り、もって東京の産業教育の振興と発展に資する。

2 作文の内容

中学校の技術・家庭科の学習もしくは高等学校や専修学校等における専門教科の学習、または勤労に関わる体験的な学習を通して経験したことを踏まえて、そこから得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの。



【テーマ】

作文の内容について、次のテーマ番号（①～⑩）から関係するものを選択して応募票の欄に記入する。

- ①授業等を通して学び得たこと
- ②インターンシップや現場実習等によって学び得たこと
- ③職場体験やボランティア活動等によって学び得たこと
- ④つくることの喜び、ものづくりの喜び
- ⑤働くことの喜び
- ⑥学習に対する心構え
- ⑦私の生きがい
- ⑧私の進路、将来の夢
- ⑨私の職業観
- ⑩その他（産業教育に関わる内容のもの）

3 応募資格

(1) 中学校の部

東京都内の中学校、中等教育学校の前期課程、義務教育学校の後期課程（東京都産業教育振興会の会員校に限る。）に在籍する生徒

(2) 高等学校・専修学校等の部

東京都内の高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等（東京都産業教育振興会の会員校に限る。）に在籍し、専門教科・科目を履修している生徒及び学生

4 応募方法

- (1) 原稿の文字数は、1200字以上1600字以内とする（改行による空白は、字数に含める）。
- (2) 応募者は1校10名以内とする。

5 応募期限

令和7年9月12日（金）【消印有効】

○その他詳細については、東京都産業教育振興会のホームページをご覧ください。

【7】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局早川までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有して下さるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内
東京都産業教育振興会 事務局（担当：早川）
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247
E-mail: Tadanori_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp
